

申告書の記載例

第二十六号様式 (提出用)

令和 4 年 1 月 24 日

紀美野町長 殿

受付印

令和 4 年度

償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

1 住所 (ふりがな)  
(又は、  
納税通知書送付先)  
〒640-1192  
和歌山県海草郡紀美野町動木287

2 氏名 (ふりがな)  
(法人にあっては、  
その名称及び  
代表者の氏名)  
紀美野フーズ株式会社 代表取締役 紀美野太郎  
(電話番号 000-000-0000)

3 個人番号又は  
法人番号  
4 事業種目  
(資本等の金額)  
食料品その他製造業  
( 30 百万円 )  
5 事業開始  
年月日  
昭和62 年 7 月  
6 申告担当者の  
氏名及び部署  
総務部経理課 田中 花子  
(電話 000-000-0000)  
7 税理士等の  
氏名  
税理士 佐藤 三郎  
(電話 ×××-×××-××××)

8 短縮耐用年数の承認  
9 増加償却の届出  
10 非課税該当資産  
11 課税標準の特例  
12 特別償却又は圧縮記載  
13 税務会計上の償却方法  
14 青色申告  
15 町内における  
事業所等、資産  
の所在地  
16 借入資産  
17 事業所用家屋の所有区分  
18 備考(添付書類等)

1 構 築 物  
2 機械及び装置  
3 船  
4 航空機  
5 車両及び運搬  
具  
6 工具、器具及び  
備品  
7 合 計

前年中に取得したもの (ア) 前年中に減少したもの (イ) 計 ((イ)-(ア)+(ロ))

前年中に取得したもの (ロ) 前年中に減少したもの (ハ) 計 ((ハ)-(ロ)+(ニ))

前年中に取得したもの (ハ) 前年中に減少したもの (ニ) 計 ((ニ)-(ハ)+(ヘ))

前年中に取得したもの (ニ) 前年中に減少したもの (ヘ) 計 ((ヘ)-(ニ)+(ホ))

前年中に取得したもの (ヘ) 前年中に減少したもの (ホ) 計 ((ホ)-(ヘ)+(バ))

前年中に取得したもの (ホ) 前年中に減少したもの (バ) 計 ((バ)-(ホ)+(ビ))

前年中に取得したもの (バ) 前年中に減少したもの (ビ) 計 ((ビ)-(バ)+(ブ))

前年中に取得したもの (ビ) 前年中に減少したもの (ブ) 計 ((ブ)-(ビ)+(ブ))

前年中に取得したもの (ブ) 前年中に減少したもの (ブ) 計 ((ブ)-(ブ)+(ブ))

所有者が個人の場合、12桁の個人番号、法人の場合、13桁の法人番号を右詰めで記載してください。  
※個人番号は、個人番号カード、もしくは通知カードと本人確認ができるものが必要です。  
※番号が記載されていない場合や、番号は記載されているが番号や本人を確認できない場合でも、申告書は受付いたします。

法人税法施行令第57条第1項又は所得税法施行令第13条第1項の規定により、国税局長の承認を受け、耐用年数の短縮を行っている資産の有無を、○で記入してください。  
※「有」の場合、「耐用年数の短縮承認通知書」の写しを添付してください。

非課税に該当する資産の有無を○で記入してください。  
※「有」の場合、非課税に該当する資産の価額等は、申告には含まれないでください。

課税標準の特例に該当する資産の有無を、○で記入してください。

租税特別措置法上の特別償却及び法人税法第42条から第50条まで及び第142条の規定又は所得税法第42条から第44条まで及び第165条、第58条の規定による圧縮記載の有無を、○で記入してください。

税務会計上の償却方法について該当する方を、○で記入してください。

法人税法又は所得税法の規定による青色申告の有無を、○で記入してください。

事業所等、資産の所在地を記載してください。  
※事業所等が一ヶ所と住所と異なる場合は、記載の上、主たる事業所の番号を、○で記入してください。

事業所用家屋の所有区分について、該当する方を、○で記入してください。

借入(リース)資産の有無を、○で記入してください。  
※借入(リース)資産がある場合には、貸主の名称、資産の名称等を記載してください。

前年中に資産の増減がない場合は、『資産の増減なし』と記載してください。※その場合は申告書のみ提出してください。  
○住所、氏名等に変更等がある場合は、異動事由(商号変更、住所移動等)、異動年月日等を記載してください。  
○廃業等により事業を辞めた場合でも、異動事由(廃業等)異動年月日を記載し、申告してください。  
○その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について、該当があれば記載してください。